

- ・ 原発からの決別
- ・ 消費税増税廃止
- ・ TPP不参加
- ・ ｽﾌﾟﾚｲ配備反対
- ・ 福祉・医療充実

これらは県政・市政  
そして国政共通の改題

## 樋渡士自夫日本共産党県委員長の 知事選出馬表明で橋爪団長が談話

日本共産党新潟県委員会は、来月の新潟県知事選挙に、樋渡士自夫（ひわたししじお）県委員長が出馬することを発表しました。

これを受け、日本共産党上越市議団の橋爪団長は、次のような談話を発表しました。「泉田知事は、原発再稼働に関して県民の安全を守る立場に立ちきれず、福祉や医療予算を全国最低レベルに押さえ込んでいる。こうした県政は刷新する必要がある。樋渡さんが掲げている政策は、すべて上越市民の暮らしにも直結する課題ばかりだ。県民の命と暮らしを守れるのは誰かを問いかけながら、市議団としても頑張っていきたい」

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.340 2012年9月30日

連絡先  
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

# JRの切符販売や長野富山直通運転は困難？！

平良木議員、「トキめき鉄道には、市民の願いを率直に伝えるべき」と主張

9月20日から始まった一般質問では、党議員団からは平良木議員がトップを切って21日に行いました。テーマは、「柏崎刈羽原発の廃炉を求めよ、(仮称)厚生産業会館の建設は慎重に、並行在来線経営には市民の願いを」とです。

並行在来線問題では、平良木議員は、この間の市民団体の市民アンケートの結果を提示して、「どの駅でもこれまでのようにJRの切符が買えることが市民の願い」「運行も長野や富山・金沢までにしてほしいという市民が圧倒的」と訴えました。(下のグラフもご覧下さい)

これに対して、えちごトキめき鉄道の取締役を兼ねている野口副市長は「意見を参考にしして伝える」と答えましたが、担当部長は「切符販売はシステムの導入にかなりのコストがかかる」「県境をまたぐ乗客は少なく、車両のやりくりも困難」と、会社の経営を代弁する姿勢で、願い実現は困難との見解を示しました。

平良木議員は、「経営が成り立つことは重要だが、まず市民の願いをしつかりと投げかけて、その上で会社なりの工夫をするよう求めるべきではないか」と追及しました。

柏崎刈羽原子力発電所の廃炉を求めるべきという指摘には、市長は、「原発稼働の急激な方向転換は、社会経済や国民生活に及ぼす影響が少なくない」「社会経済への影響を含め、国民的議論の上で判断されるだろう」と、消極的な姿勢を示し、再稼働に関しても、「まずは国の責任で安全対策が確立されることが必要であり、現段階では再稼働を判断する時期にはないと考える」と、これまでの答弁の域を越せませんでした。

(仮称)厚生産業会館の建設については、市長は「公約の一つとして期待されており、将来の上越市に必要なもの」「着実に進めていきたい」として、計画通りすすめるという姿勢を崩しませんでした。

また、市民からの疑問や意見をさらに把握すべきだという指摘にも、「ホームページに掲載しているし、パブリックコメントでもご意見を求める」と答え、市民アンケートやすべての地域協議会への諮問など、これまで以上のていねいな意見集約は考えていないという考えを繰り返しました。



「在来線の存続、地域の振興・発展を目指す地域の会連絡会」の市民アンケート結果より

第三セクター鉄道の駅では、JRの乗車券や特急券が買えなくなることが予想されます。どう思われますか。



第三セクター鉄道の普通列車は、どこまでの区間で運行することが望ましいですか

